令和5年度 日南市入札監視委員会（第2回） 議事概要

開催日時及び場所	令和6年2月15日（木）13時30分～16時20分 宮崎県自治会館 2階会議室
出席委員氏名 (順不同・敬称略)	楠 茂 樹（上智大学法学部 教授） 松 岡 孝 浩（松岡孝浩法律事務所 弁護士） 海 野 理 香（税理士法人アビエ・パートナーズ 代表社員税理士）
出席関係者氏名	<p><説明者等></p> <p>谷 元 貴 士（総合政策部 未来創生課 未来創生係 課長補佐兼係長） 寺 岡 卓 馬（総合政策部 未来創生課 未来創生係 主査） 前 田 祐 二（産業経済部 農村整備課 農地整備係 課長補佐兼係長） 川 崎 大 輔（産業経済部 農村整備課 農地整備係 主任技師） 竹 下 光 也（水道局 水道課 施設計画係 課長補佐兼係長） 山 脇 崇 弘（水道局 水道課 施設計画係 副主幹） 中 尾 淳 一（水道局 水道課 施設計画係 副主幹） 林 和 晃（建設部 建設課 保全係 係長） 焼 山 哲（建設部 建設課 保全係 副主幹） 山 口 勝 也（建設部 財産マネジメント課 建築営繕係 課長補佐兼係長） 杉 田 浩 介（建設部 財産マネジメント課 建築営繕係 主任技師） 和 田 考 巨（総合政策部 財政課長） 阿 部 啓 行（総合政策部 財政課 契約係 課長補佐兼係長） 福 元 正 樹（総合政策部 財政課 契約係 主査） 坂 元 光 一（総合政策部 財政課 契約係 副主幹）</p> <p><事務局></p> <p>重 永 康 彦（総合政策部 総務課長） 大 田 原 睦（総合政策部 総務課 内部統制係 係長） 田 中 宏 幸（総合政策部 総務課 内部統制係 副主幹）</p>
議事概要	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>・日南市入札監視委員会 楠委員長</p> <p>3 審議</p> <p>(1) 令和5年度上半期公共工事における抽出案件の審査について</p> <p>① 抽出委員から抽出理由の説明</p> <p>・楠委員長が198件ある工事の中から抽出した6件について、その理由を説明</p> <p>② 市担当者等から抽出案件の説明</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・入札監視委員会の会場となる自治会館（宮崎市）と日南市役所をオンラインで繋ぎ、抽出した6件について、事業の各工事担当者及び契約係からの説明並びに質疑応答（それぞれ、説明と質疑応答合わせて20分程度） ③ 総括 <ul style="list-style-type: none"> ・説明等を受けた6件について、総合的に評価 ・今回、市に対しての要望等はなし ④ 次回抽出委員の選定 <ul style="list-style-type: none"> ・次回令和5年度下半期分の抽出委員に、井手委員を選定。 (2) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォータースライダー鉄骨階段改修工事の現況について財政課契約係より報告。 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・なし 5 閉会
<p>委員会意見の内容要旨</p>	<p>【審査案件1】 道の駅きたごう造園工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約変更、特に大型のものに際しては十分説明責任を果たせるよう引き続き努力していく必要がある。 ・通常の契約変更とは言い難い内容であり、工事範囲の追加、造園工事に外壁清掃が追加されている点、50%を超える増額など、契約変更としては違和感を覚え、何等かのガイドラインがあったほうがよいと思われる。当初入札時に同条件で提示されていれば、他社の入札行動が変わった可能性もあり、競争が阻害される要因になりかねない。 ・大きな額の契約変更がなされているが、現場を見ていないのではないかと疑うレベルのものや明らかに造園とは無関係な工事（花壇の設置や外壁の清掃）が追加されており、殊に後者に関しては契約変更での対応は不適切と思われる。 ・オープンが迫っていたからというのも当初予定していた範囲を明らかに超える業務の追加変更の理由として納得できるものではなく、造園に関する入札が件数として少ないのであれば、なおさら別に発注して公平な参加の機会が与えられるべきであったと思われる。 ・現状では、内容と金額の変更に制限が設けられておらず、契約変更という手法がブラックボックスとなっているので、ある程度の制限は検討する必要がある。

【審査案件 2】 令和 4 年災第 1005 号

宿之河内地区 農道災害復旧工事

・ 随意契約理由については十分な説明を行えるよう、常時準備を怠らないようにしなければならない。また、予定価格とのすりあわせ等の問題が発生しないよう細心の注意を払う必要がある。

・ 指名競争入札時、他社がすべて辞退し 1 社のみ応札した場合不調となる趣旨については、資料と説明から理解できたが、再入札後、結局はこの 1 社と随意契約を行っていることから、制度の矛盾を感じた。発注の仕方に工夫できる点がないか、検討の余地があると考える。

・ 災害復旧工事について、何度も入札をし直すことが必要なのかは検討が必要である（但し、これは市における 8 号の緊急性の認定及び解釈の問題でもある）。

・ 工事内容が変わらないのに、2 回目に予定価格超過で無効となった業者（落札する意図なし）との間で 1 回目より高い金額で随意契約を締結したことが適切だったかは疑問に感じる。

【審査案件 3】 南郷送水管布設工事（1 工区）

・ 対応できる業者数、工事の時期等に制約があるときは、発注の仕方、入札の仕方次第で競争制限に至る可能性も大いにあるので、注意が必要である。

・ 地域内の A ランクの事業者が 8 社しかない中で、2 社もしくは 3 社 J V ですべての構成員に地域要件を課すことは、そもそも一般競争入札の条件を満たすといえるのか。地域企業の育成も必要であることは痛感する一方、発注側の行政として、競争性をどのように確保するのか、構成員のすべてに地域要件を課すことの是非について検討が必要と考える。

・ J V に参加する業者すべてに地域要件をかけるため、大規模工事はそもそも参加業者が 1 社か 2 社に限られてしまっており、競争性が全く働いていないように思われる。

・ 昨今の不調事案の顕著な増加も考えると、地域ブロックを広げる等、地域要件の在り方につき検討を開始する必要があるように思われる。

【審査案件 4】 第二土地区画 25 号線他 1 路線

配水管耐震化工事

・ 案件 1 同様、契約変更の際には十分説明責任を果たせるよう引き続き努力していく必要がある。

		<p>・案件 1 同様、金額が 50%以上増加している契約変更の事案であり、他の工種の落札率の推移（低下傾向）と比較して、水道工事の落札率が高い理由について、分析が可能であれば、今後検証していただきたい。</p> <p>【審査案件 5】 海門木下線 道路維持工事</p> <p>・ 随意契約理由については十分な説明が行えるよう、常時準備を怠らないようする必要がある。</p> <p>・ 発注会計および発注工種は異なるが、随意契約というよりは、追加の変更契約ととられかねない事案であり、契約単体で見ると合理的な判断に見えるが、全体を俯瞰すると、1つの工事を落札することで、付加される契約のようにも見える点が気になる。</p> <p>・ 水道工事の入札の時点で、その工事中に道路維持工事も行うことを予定していた状況で、会計の違いから、水道工事を落札した業者に事後に契約変更の形で道路維持工事をも対応させている形になっており、価格の有利性という建前はともかく、水道工事の入札に参加した他の業者にとって不意打ちになっていないのか疑問である。</p> <p>【審査案件 6】 旧南郷総合支所解体工事</p> <p>・ 下限価格の設定の仕方次第で、多くの応札者が失格になる可能性も否定できない。その場合、予定価格付近での応札者が落札者になる可能性がある。そのような蓋然性を意識する必要がある。</p> <p>・ 最低制限価格を公表することの是非について、あらためて考えさせられた。他の自治体で最低制限価格を公表されているところを把握できていれば、次回以降、運営状況について、情報共有をお願いしたい。</p> <p>・ 予定価格が公表されている中で、最低制限価格未満の失格を含む下限の入札がなされた事案であり、適切な競争がなされていると感じる。</p> <p>・ 国の方針に逆行するものであるため、予定価格の公表も含めて、今一度検討が必要に思われる。</p>
公共事業審議対象期間		令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 9 月 30 日
公共事業抽出案件		総件数 6 件
内 訳	一般競争入札	2 件
	指名競争入札	2 件
	随意契約	2 件
		(備考) 対象件数 198 件

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問と それに対する回答等	非 公 表	
その他	なし	